

ベートーヴェン 交響曲第5番「運命」

Beethoven
SYMPHONY

運命

×

カルミナ・
ブラーナ

オルフ「カルミナ・ブラーナ」

ドイツ音楽の神髄を聴く豪華なプログラムが実現！

飯森範親「指揮」



幸田浩子 [ソプラノ]

中井亮一 [テノール]

須藤慎吾 [バリトン]

日本センチュリー交響楽団 [管弦楽]

日本センチュリー合唱団 [合唱]

大阪すみよし少年少女合唱団 [児童合唱]

2024 3/31 (H) 15:00開演 [14:00開場]
S 9,900円 A 8,800円 B 7,700円 (税込)

ザ・シンフォニーホール

主催：ザ・シンフォニーホール

ご予約・お問合せ

■ザ・シンフォニー チケットセンター 06-6453-2333 (火曜定休) <https://www.symphonyhall.jp>

■センチュリー・チケットサービス 06-6848-3311 (平日10:00~18:00) <https://www.jcso.or.jp/ticket/> (24時間)

■e+(イープラス) <https://eplus.jp/symphonyhall> (パソコン・携帯)

■チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/symphonyhall> [Pコード:254-612] ■ローソンチケット <https://l-tike.com/symphonyhall> [Lコード:56031]

プレイガイド

※未就学児のご入場はご遠慮いただいております。
※やむを得ない事情により、出演者、曲目、曲順が変更になる場合がございます。 ※公演中止・延期の場合を除いて、チケット代金の払い戻しは承りません。予めご了承下さい。

運命 × カルミナ・ブラーナ

ベートーヴェンの交響曲 第5番「運命」とオルフの「カルミナ・ブラーナ」というまさにドイツ音楽の神髄ともいえる豪華なプログラムが上演される。指揮を執るのは、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、群馬交響楽団常任指揮者を兼務し、近年ますます評価を高めている飯森範親。彼は、ミュンヘン留学時代に「カルミナ・ブラーナ」を学び、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督時代、日本人指揮者とドイツのオーケストラの組み合わせとしては史上初となるベートーヴェン交響曲全集の録音を残した。まさに両作品のエキスパートともいえるマエストロのもとで、日本を代表する独唱者陣、児童合唱を含む大合唱、そして飯森のパートナーである日本センチュリー交響楽団が壮大な音の絵巻を繰り広げる。

文・山田治生



飯森範親 [指揮]

桐朋学園大学指揮科卒業。国内外のオーケストラを数多く指揮、東京交響楽団正指揮者、ドイツ・ヴェルテンベルク・フィルハーモニー管弦楽団の音楽総監督(GMD)等歴任。現在、パシフィックフィルハーモニア東京音楽監督、日本センチュリー交響楽団首席指揮者、群馬交響楽団常任指揮者、山形交響楽団桂冠指揮者、いずみシンフォニエッタ大阪常任指揮者、東京佼成ウインドオーケストラ首席客演指揮者、中部フィルハーモニー交響楽団首席客演指揮者。

<http://iimori-norichika.com/>



幸田浩子 [ソプラノ]

東京藝術大学首席卒業。同大学院、オペラ研修所を経て渡欧。国際コンクールで上位入賞後、ローマ歌劇場、シュトゥットガルト州立劇場等で活躍し、ウィーン・フォルクスオーパーと専属契約。帰国後もオペラやコンサート、メディア等で多彩な活動を展開している。第14回五島記念文化賞オペラ新人賞、第38回エクソンモービル音楽奨励賞受賞。2023年9月CD<花のまち〜日本のうたⅢ〜>リリース。二期会会員。

www.columbia.jp/koudahiroko/



中井亮一 [テノール]

名古屋芸術大学卒業、同大学院修了。スカラ座音楽院オペラ研修所修了。留学中、スカラ座(合唱)をはじめイタリア各地で出演。帰国後は「セビリアの理髪師」伯爵、「椿姫」アルフレード、「夕鶴」とひょう等多数のオペラに出演。新国立劇場、東京文化会館、オーチャードホール、東京芸術劇場、日生劇場、愛知芸文、びわ湖ホール、兵庫芸文などに出演。山口県芸術文化振興奨励賞受賞、同県平生町イタリア〜ひらお観光大使。桜美林大学講師。名古屋二期会研修所講師。藤原歌劇団団員。



須藤慎吾 [バリトン]

国立音楽大学卒業、同大学大学院修了。第42回日伊声楽コンクール第1位、第10回オルヴィエート国際オペラコンクール第2位など受賞。イタリア各地の歌劇場で多数オペラに出演。藤原歌劇団には、「リゴレット」タイトルロール、「イル・トロヴァトーレ」ルーナ伯爵、「トスカ」スカルピア等で好評を博す。新国立劇場では「ルチア」エンリーコ、「アイーダ」アモナズロなど多数出演。藤原歌劇団団員。国立音楽大学非常勤講師。



街に響く。心に届く。

日本センチュリー交響楽団 [管弦楽]

1989年に活動を開始し、大阪府・豊中市を拠点に活動するオーケストラ。現在、飯森範親が首席指揮者、秋山和慶がミュージックアドバイザー、久石譲が首席客演指揮者を務める。ザ・シンフォニーホールで開催するシンフォニー定期演奏会、ハイドンの交響曲全曲演奏・録音プロジェクト「ハイドンマラソン」に加えて、豊中市立文化芸術センターでの名曲シリーズを展開する。教育プログラム地域連携事業にも力を入れている。2024年12月に楽団創立35周年を迎える。

オフィシャルホームページ <https://www.jcso.or.jp>